

🎹 総会開催 [オンライン総会] のお知らせ 🎹

令和4年度 日本チェンバロ協会 第11回総会開催 [オンライン総会]

春暖の候、皆様にはますますご清祥のことと拝察いたします。平素より日本チェンバロ協会の活動にご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。

日本チェンバロ協会では他の類似団体と同様、昨今の新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、厳しい運営を強いられております。そこで、通常総会にかかる費用の削減と、東京以外の会員が参加しやすくなることを目的として、第11回通常総会では以下の2点を変更することにいたしました。

【 議案書のペーパーレス化 】

これまでは紙媒体の総会議案書を郵送し、総会への出欠あるいは議決権の委任について、ハガキで返信いただいております。第11回通常総会では、メールアドレスをお持ちの会員には、議案書のPDFファイルをメールに添付してお送りする方法に切り替えることになりました。総会への出欠あるいは議決権の委任については、専用のメールフォームを使用し、表明していただくことを検討しております。具体的な方法については4月中を目処にメールマガジンおよびホームページにてお知らせいたします。

なお、メールアドレスをお持ちでない方、PDFファイルを受け取ることができない方には、前回と同じく紙媒体の総会議案書を郵送し、ハガキによる総会への出欠の表明と、議決権の委任または書面議決をお願いいたします。

【 総会のオンライン化 】

第11回通常総会を、2022年5月29日（日）午前10時より実施する運びとなりました。総会におきましても昨今のさまざまな状況を踏まえ、オンラインで実施いたします。なお、オンライン会議ツールのZoomを使用して実施しますので、事前に数回の練習日を設け、会員の皆様に安心してご参加いただけるようご案内します。下記の通り、前もってご準備をお願いいたします。

1. Zoomを使用されたことのある方

- (1) 総会の議案書、または、日本チェンバロ協会のホームページ内の協会員専用ページに掲載する総会の招待用リンクのURL（後日お知らせします）を、開始時間の少し前にクリックしてください。（2021年度のパスワードをお使いください）
- (2) 当日はお名前をフルネームで表示してください。名前の記入方法は、後述の 2.Zoomを初めて使用される方★(3) をご参照ください。
- (3) 最近Zoomを使用されていない方は「最新バージョンへのアップグレード」をお願いいたします。（Zoomアプリの中で「アップデートの確認」を選択・クリックしてください）

参考：<https://did2memo.net/2020/04/10/zoom-update/>

2. Zoomを初めて使用される方

(1) あらかじめ、Zoomアプリをダウンロードし、インストールを完了させてください。

以下のサイトで、一番上にある「ミーティング用Zoomクライアント」用のアプリをクリックするとダウンロードできます。<https://zoom.us/download>

※ なお、パソコンを使用して参加される方はパソコン用のアプリ、スマートフォンを使用される方はスマートフォン用のアプリのダウンロードをお願いいたします。

(2) 総会の議案書または日本チェンバロ協会のホームページ内の協会員専用ページに掲載する総会の招待用リンクのURL（後日お知らせします）を開始時間の少し前にクリックしてください。（2021年度のパスワードをお使いください）

★(3) 当日はお名前をフルネームで表示してください。名前の記入方法は以下の通りです。

- 招待リンクをクリックして入室
- 画面下部のメニューから「参加者」をクリック
- 自分の名前にカーソルを合わせる
- 「詳細」をクリック
- 「名前の変更」をクリック
- 表示させる名前を入力
- 「OK」をクリック

参考： https://symphonict.nesic.co.jp/workingstyle/zoom/name_change/

3. Zoom事前テスト実施

初めてZoomを使用される方、また練習しておきたいという方のために、Zoomテスト日を3回設けることにいたしました。ここでは、Zoomに入室することができるか、「手を挙げる」機能が使えるか、チャットの機能が使えるか、ご自分のお名前を自分の画面に記入することができるか、マイクやビデオのオン/オフなどの操作ができるかなどを試していただく予定です。Zoom事前テストにぜひご参加ください。

Zoom事前テストの日程は、以下を予定しております。

- ① 4月20日（水） 19:00-20:30
- ② 5月 8日（日） 10:00-11:30
- ③ 5月15日（日） 10:00-11:30

期日が近付きましたら改めて、メールマガジンおよびホームページにてお知らせいたします。

協会運営を継続、円滑に進めていくため、ご理解・ご協力をお願いいたします。

★サポーター、法人・団体会員、名誉会員の皆様には傍聴権がございますのでZoomでの総会にもぜひご参加ください。Zoomテスト日もどうぞご利用ください。なお、議決権を有するのは会員のみであり、挙手をしていただくことはできません。ご理解くださいますよう、お願いいたします。

以上

日本チェンバロ協会設立 10 周年記念事業によせて

副会長 久保田 慶一

日本チェンバロ協会が設立されてから 10 年という歳月が流れました。設立当初は東日本大震災や福島第一原発事故の直後で、日本の社会全体が、将来が見えないという不安の淵にあった頃だったと思います。しかし、小林道夫先生を中心にして有志たちが集まり、チェンバロの楽器や音楽の魅力を多くの人たちに知ってもらいたいという篤い思いが協会の設立を支えました。

チェンバロ協会は「法人」ではなく「任意」団体ですので、団体に参加する人たちがいなくなる、あるいは会費を支払わないという状況になりますと、すぐさま消滅してしまいます。法人ですと、経営陣が入れ替わっても法人は存続します。ですから任意団体である日本チェンバロ協会が 10 年間存続するという意味はとて大きいと言えます。会費が継続して納入されたからだけではありません。「チェンバロの日！」や例会の開催、さらに今年で第 6 号となる「チェンバロ年報」の刊行といった活動があつてのことです。

私が会長職にあった最後の年に、10 周年記念事業のための基金を設けました。事業内容は具体的には決めていませんでしたが、記念事業として何かを実施したいときに資金がないと困るだろうと思ったからです。

ところがここ 2 年の間に世界を襲ったコロナ・パンデミックによって、10 周年記念事業どころか、協会の基本となる事業の継続も難しい状況になりました。「チェンバロの日！」は、2020 年度に中止、2021 年度に前年度の企画を縮小してオンラインでの実施となりました。また例会もオンラインのみとなりました。もっとも、オンラインで実施することで、開催地にまで足を運ぶ必要がなくなり、より多くの人に参加できるようになったというメリットを、実感したのも事実ではあります。でもそうは言っても、本来音楽には、同じ空間で同じ音を共有することが求められます。オンラインでは同じ空間で同じ音を共有することはできません。単なる「情報伝達」でしかありませんから、コロナ以前に戻りたいという気持ちも少なからずあります。

こういった状況は、任意団体である協会にとっては致命的であります。状況が長引けば、脱会する人も増加して、会費収入が減少して、やがて団体は消滅します。期せずして、2022 年度の「チェンバロの日！」は設立 10 周年の年ではありますが、同時に、協会のこれからの存立を賭した会になるのではないかと、私個人は思っています。「チェンバロの日！」の実行委員の方々にも、そういった思いをもって協力していただいていると思っています。ですから、協会員の皆様にも是非とも、その思いを共有していただければと思います。

総会をはじめ「チェンバロの日！」は「ハイブリット開催」になります。コロナ感染の状況次第で開催が危ぶまれるという事情もありますが、同時に図らずも、オンライン開催のメリットを実感した私たちですので、オンライン実施のメリットを最大限活用したいと思っています。これから 10 年先までの活動の基本的なスタイルになるのではないのでしょうか。

「チェンバロの日！」の第 1 日目には、脳科学者の本田学先生にお話をさせていただきます。おそらく音楽関係でない方が講演されるのははじめてかもしれません。しかし本田先生は「芸能山城組」の活動に永年携わっておられるだけでなく、「ハイパーソニック・エフェクト」の研究者でいらっしゃいます。音楽を CD 録音した際に、高周波のハイパーソニックの音域の音はカットされますが、実は音楽の感動の源は、この音域の音にあると言われていています。そしてこの音域の音を最も多く含んでいる音楽が、ジャワのガムラン音楽であり、チェンバロの音楽だそうです。チェンバロの音楽が脳科学研究の対象となり、将来、脳治療への貢献も技術的になるかもしれません。第 2 日目の座談会には、コジマ録音の社長の小島幸雄さんに登壇していただくのも、決して偶然ではなさそうですね。サイエンスやメディアとチェンバロ音楽の未来を大いに語ってほしいと思います。

最後になりましたが、記念事業の一環として、春秋社から『チェンバロ事典』(仮称) を刊行します。項目執筆を担当して下さったのは、協会員の方たちばかりです。8 月には会員、法人・団体会員の方にお送りできると思います。どうぞ楽しみにお待ちいただければと思います。また出版に際しては、故・鍋島元子先

生が1974年に設立され、残念ですが2017年に閉会されてしまった「古楽研究会 ORIGO et PRACTICA (通称オリゴ)」様よりご寄付をいただきました。この事典は10年後、20年後も、音楽家や音楽愛好家に利用されるでしょうが、鍋島先生のご遺志も受け継がれていくものと思っております。

コロナ・パンデミック、地震、そして戦争などによって、また個人のレベルでも病気や愛する人の別れによって、人生は断絶されます。任意団体である協会も「法人」ではなく、「自然人」ですので、こうした断絶によって生命の維持は危機にさらされます。しかしこうした断絶を克服する、以前のように戻れないかもしれないが、工夫をして継続することで、断絶を埋めていくことが大切かと思えます。コロナも人と人を「空間的に」断絶することを強いますが、インターネットによってこの断絶の一部は克服され、将来には、音質もよく臨場感のある音をネット上で共有できるようになるでしょう。しかしそうなったにしても、音楽はやはり同じ空間で同じ音を共有することを、私たちは切望し続けるでしょうし、日本チェンバロ協会も人々の切望を叶える協会であり続けてもらいたいと思っております。

以上

🎹 【 チェンバロの日！2022 】 🎹

過去と未来をつなぐ チェンバロの世界 ~日本チェンバロ協会 10周年を記念して~

2022年、日本チェンバロ協会は創立10周年を迎えました。例年5月に行っている【チェンバロの日！】を、創立10周年記念イベントとして開催いたします。今回、協会として新時代にふさわしいイベントのあり方を模索した結果、対面とオンラインとのハイブリッドで開催する運びになりました。

日本チェンバロ協会設立 10周年を記念して
チェンバロの日! 2022
 過去と未来をつなぐチェンバロの世界
 2022年 5/21(土)・22(日)
 後日、録画オンライン配信を予定

【会場】松本記念音楽迎賓館 (東京都世田谷区岡本)

演奏 西山まりえ 「チェンバロ〜巨匠達へのトリビュート」
演奏 上羽剛史 「今昔ポリフォニー物語」
講演 本田 学 (国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第七部 部長) 「耳に聞こえない高周波が音楽の感動を高める ～ハイパーソニック・エフェクト～」
配信動画 達達 孝 <イタリアより> 「バルティメントの歴史 - ナボリの音楽院における教育システムを通じて」
配信動画 平林朝子 <アメリカより> 「チェンバロ作品でアメリカと日本をつなぐ」
座談会 テーマ「チェンバロの世界 過去から未来へ コロナ禍の前後」
 <司会> 久保田慶一 <出席者> 岡田龍之介 小島幸雄 (ロジャ録音) 津上英輔 (美空杏)
特別コンサート ～みんなで作る～ゴルトベルク変奏曲リレーコンサート (テーマ演奏: 小林道夫)
展示 10年の足跡 (常設) 他
物販 アカデミア・ミュージック ユニヴァーサル社 道和書院 日本チェンバロ協会による年報、関係者CD、グッズ販売 他

【1日入館料 / 公演予約】
 (完全予約制・1公演20名限定予定 (先着順))
 ※状況により席数が増える可能性があります
 ※入館チケットは原則1人1枚に限り、家族単位で申し合わせることも可能です
 各日 一般 4,000円 日本チェンバロ協会会員 / サーター 3,000円
 学生 2,000円

【ご予約・お問合せ】
 日本チェンバロ協会・チェンバロの日専用アドレス cembaloday@yahoo.co.jp
 または協会HP 申し込みフォーム
<https://www.japanharpsichordsociety.jimdofree.com/> よりお申し込みください
 ※2022年4月21日 お申し込み受付開始予定

【主催】 日本チェンバロ協会
【協賛】 読売音楽立コンクール・山崎ビル
【後援】 公益財団法人 音楽鑑賞振興財団

● 感染症予防対策の徹底についてはホームページに掲載いたします。
 ● 申し込み時に必要と思われる場合があります。ホームページに掲載をアップいたします。
 ● 感染症でのキャンセルはご遠慮ください。
 ● 感染症拡大防止のため、入場時体温検閲と手の消毒、マスク着用をお願い申し上げます。

日本チェンバロ協会のご案内
 日本チェンバロ協会は、日本におけるチェンバロとその音楽の普及と発展を目的として、2011年に発足しました。現在、演奏家、制作者、研究者、愛好家からなる賛助会員は200名を超え拡大しております。会員制の特典中、詳しくはホームページをご覧ください。

チェンバロの日! 2022
 当日のスケジュール

5月21日(土) 12:30 開館 / 18:15 閉館

時間	Aホール(2F)	Bホール(2F)	レセプションルーム(2F)	Cホール(1F)	サロン(1F)
13:00	13:00~14:00 録音・見学	13:00~14:00 配信動画 達達 孝 (イタリアより) 「バルティメントの歴史」			
14:00		14:30~16:00 講演 本田 学 「耳に聞こえない高周波が音楽の感動を高める」 ～ハイパーソニック・エフェクト～」	13:00~17:00 CD・楽譜等の販売 アカデミア・ミュージック ユニヴァーサル社 道和書院 日本チェンバロ協会物販	13:00~18:00 展示ほか 動画上映 楽譜メンテナンス ペーパークラフト	13:00~18:00 内外からの動画 メッセージ上映 DVD上映 SPレコード視聴 ほか
16:00			展示	上映スクリーン6台が 録音も同時進行いたします	上映スクリーン6台が 録音も同時進行いたします
16:30	16:30~17:30 演奏会 西山まりえ (チェンバロ〜巨匠達へのトリビュート)				
17:00		17:00~18:00 録音・見学			
18:00					

5月22日(日) 10:30 開館 / 18:15 閉館

時間	Aホール(2F)	Bホール(2F)	レセプションルーム(2F)	Cホール(1F)	サロン(1F)
10:45	10:45~11:30 録音・見学	10:45~11:45 リレーコンサート テーマ:15歳			
11:00		12:30~13:30 リレーコンサート 16歳~18歳	10:45~17:00 CD・楽譜等の販売 アカデミア・ミュージック ユニヴァーサル社 道和書院 日本チェンバロ協会物販	10:45~17:00 展示ほか 動画メンテナンス ペーパークラフト	10:45~17:00 内外からの動画 メッセージ上映 DVD上映 SPレコード視聴 ほか
12:00			展示	上映スクリーン6台が 録音も同時進行いたします	上映スクリーン6台が 録音も同時進行いたします
13:00		14:00~15:05 配信動画 平林朝子 (アメリカより) 「チェンバロ作品でアメリカと日本をつなぐ」			
14:00					
15:00	15:15~16:15 演奏会 上羽剛史 (今昔ポリフォニー物語)				
16:00					
17:00	17:00~18:00 演奏会 録音・見学	16:30~18:00 座談会 久保田慶一 (司会) 岡田龍之介 小島幸雄 (ロジャ録音) 津上英輔 (美空杏)			
18:00					

●10周年企画 J.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲」リレーコンサート
 5月22日(日) 一般公募の30人によるコンサートで、当日会場参加とビデオによる動画参加で構成されます。既に申し込みは終わっておりますが、お問い合わせはリレーコンサート専用アドレス welcome.goldberg@gmail.com 担当 林まで。
 ※リレーコンサート全体のオンライン配信はいたしません。

* HP【チェンバロの日！2022】詳細ページ <https://japanharpsichordsociety.jimdofree.com/event/cembaloday2022/>

【 チェンバロの日！2022 】

過去と未来をつなぐ チェンバロの世界 ～日本チェンバロ協会 10 周年を記念して～



日 時： 2022 年 5 月 21 日（土）、22 日（日）

会 場： 松本記念音楽迎賓館

演 奏： 西山まりえ 「チェンバロ～巨匠達へのトリビュート」

演 奏： 上羽剛史 「今昔ポリフォニー物語」

講 演： 本田学 「耳に聞こえない高周波が音楽の感動を高める ～ハイパーソニック・エフェクト～」

配信動画： 渡邊孝 「パルティメントの歴史 - ナポリの音楽院における教育システムを巡って」

配信動画： 平林朝子 「チェンバロ作品でアメリカと日本をつなぐ」

座 談 会： 「チェンバロの世界 過去から未来へ コロナ禍の前後」

司会 / 久保田慶一 出席者 / 岡田龍之介、小島幸雄、津上英輔

特別コンサート： 「～みんなで作る～ゴルトベルク変奏曲リレーコンサート」 [テーマ演奏：小林道夫]

展 示： 10 年の足跡（常設）他

物 販： アカデミア・ミュージック、ユニヴァーサル社、道和書院、当協会

【主催】日本チェンバロ協会 【協賛】国際古楽コンクール<山梨> 【後援】公益財団法人音楽鑑賞振興財団

* 詳細を掲載した、特別会報「10 周年記念特別号」をまもなく発行予定です。

* オンライン配信は 2022 年 6 月初旬より 1 か月程度を予定しています。

* 催し物等に変更がある場合がございます。ホームページに最新情報をアップいたします。

* お車でのご来場はご遠慮ください。

* 感染拡大防止のために、入館時の検温と手の除菌、マスク着用をお願い申し上げます。

【 1 日入館料・公演予約 】 完全予約制・1 公演 20 名限定予定（先着順）

各日 [日本チェンバロ協会 会員 / サポーター / 法人・団体会員] 3,000 円 [一般] 4,000 円 [学生] 2,000 円

* 状況により席数が増える可能性があります。

* 入館チケットお申し込み時に、来場希望の催しも合わせてご予約ください。

【 ご予約・お問い合わせ 】

当協会・チェンバロの日専用アドレス cembaloday@yahoo.co.jp、または、協会 HP お申し込みフォームよりお申し込みください。* 2022 年 4 月 21 日 お申し込み受付開始

* 詳細は、ホームページ内以下のページをご覧ください。随時更新しております。

「チェンバロの日！2022」詳細ページ <https://japanharpsichordsociety.jimdofree.com/event/cembaloday2022/>

「チェンバロの日！2022」ご案内ブログ <https://japanharpsichordsociety.jimdofree.com/cembalo-day2022/>

また、詳細を掲載した特別会報「10 周年記念特別号」をまもなく発行いたします。

* 「創立 10 周年へのメッセージと活動等 PR 動画」を当日、会場の動画コーナーで放映いたします。

【 特別販売 】

「チェンバロの日！2022」の協会グッズ販売は、当日のほか、後日ホームページにおいても販売を予定しております。10 周年企画の「～みんなで作る～ゴルトベルク変奏曲リレーコンサート」にちなみ、初版譜から Aria をモチーフにしたクリアファイルを販売いたします。詳細につきましては、後日、協会ホームページおよびメールマガジン等にてお知らせいたします。楽しみにお待ちください♪ (デザイン・制作 / 高橋ナツコ)

第 47 回例会（2021 年度第 1 回例会）

【 テンポ・ルバート（時間泥棒） 】

講師：野入 志津子

第 1 回例会オンライン講座では、オランダ在住のリュート奏者、野入志津子氏に「テンポ・ルバート」という言葉が登場した背景やその歴史について、楽譜や音源などの資料に加え、リュートでの実演も交えながら講義いただきました。

バロックやクラシックの楽曲だけでなく、さまざまな国や時代、ジャンルを超えて音楽の中に息づくテンポ・ルバートの在り方とその重要性を見出すことのできる実り多いオンライン講座となりました。

動画内で流れる音源からはどれも心地よいリズムのゆらぎが感じられ、動画セクションの合間には講師ご本人がヨーロッパ各地で撮影された美しい風景や建造物のスナップ写真もご紹介くださり、ご視聴いただいた皆様には自粛生活でなかなか叶わない海外への旅行気分も味わっていただけたのではないのでしょうか。

（例会係：佐藤理州）

講座内容

- 1) テンポ・ルバートとは。テンポ・ルバートの背景
- 2) テンポ・ルバートの原則と歴史（声楽、ヴァイオリンそして鍵盤音楽）
- 3) テンポ・ルバートの感性
- 4) 耳から学ぶテンポ・ルバート Chopin



* HP 協会専用ページ内「第 47 回例会」 → <https://japanharpsichordsociety.jimdofree.com/member/online/reikai2021-1/>

第 48 回例会（2021 年度第 2 回例会）

【 ソルミゼーションと旋法理論：想像力のために 】

～A.Banchieri や G.Diruta を中心に演奏解釈へのヒントをさぐる～

講師：辻 康介

第 2 回例会オンライン講座は「ソルミゼーションと旋法理論：想像力のために」というテーマで歌手の辻康介氏にご講義いただきました。

「ut re mi fa sol la」の 6 音で構成されるヘクサコードや、ダイアトニック音列といったソルミゼーションの基礎知識にはじまり、豊富な資料や譜例とともに楽曲をより深く理解するための大きなヒントとなる旋法理論についてお話いただきました。

< 会員の演奏会・イベント情報の掲載依頼方法について > [2020年9月改訂]

ホームページおよび Facebook ページにおける会員皆様の演奏会・イベント情報の掲載について、皆様に公平に対応させていただくために、一昨年9月の運営委員会において数点改訂しております。

- * 会員（会員区分：会員）の方は、ご自身が出演する演奏会・イベントの情報を協会ホームページに掲載、また、Facebook 協会公式ページでの出演情報配信を行うことができます。
- * 掲載・配信作業は担当者が行います。
- * ホームページへの掲載はチェンバロでの出演情報のみ可能です。Facebook ページには、そのほかの形によるご出演分も掲載することができます。

ご希望の方は下記の注意事項をご確認の上、「演奏会・イベントの文字情報」と「チラシ画像（任意/JPEG）」をメールでお送りください。

広報（コンサート情報担当）：concertinfo_jhs@yahoo.co.jp

[ご依頼にあたっての注意事項]

- * 演奏会・イベントの問い合わせ先（電話番号やメールアドレス等）を文中に必ず明記ください。掲載情報について協会ではお客様からの問い合わせには対応できません。また、掲載・配信の際は、いただいた文章を基本的にそのまま掲載し、こちらでの詳細確認はいたしかねます。ご了承ください。
- * Facebook ページでは、毎月2日と16日の配信を基本として行っております。広報への情報送信の締め切りは、毎月1日および15日の午前0時です。例）8月14日に行われるコンサート情報を、8月2日以降に送っていただいた場合、Facebook ページでの配信はできませんが、ホームページには随時掲載いたします。
- * 年度をまたいだ掲載情報につきましては、前年度内での依頼は新年度5月分までを受け付け、以降の情報につきましては、新年度の協会員更新手続き後に受け付けいたします。
- * 年会費未納の方、滞納されている方、また滞納などの理由で会員の資格を失った方は、ホームページ掲載および Facebook ページでの配信を依頼できません。必ずご自身の年会費の納入状況をご確認ください。納入状況が不明の場合は「年会費納入状況の確認」とタイトルを付け、お名前を明記の上、事務局にメールをお送りください。確認後ご連絡いたします。
- * ホームページ及び Facebook ページでの演奏会・イベントの情報掲載および配信は、会員の方の特典です。よって、掲載依頼は会員本人からに限ります。掲載情報内容の詳細について、主催者やコンサートマネージャーから送信される場合も、事前に会員ご本人から広報へ掲載依頼のお申し込みをし、その旨をご連絡ください。

広報（コンサート情報担当）：concertinfo_jhs@yahoo.co.jp

- * サポーターの方が掲載・配信を希望される場合は会員区分を変更していただく必要があります。事務局へご相談ください。

事務局 : japan.harpsichord.society.jp@gmail.com

- * 事務局および広報共に迅速な対応に努めておりますが、お問い合わせが集中する時期には、返信に数日～1週間かかることもございます。なるべく日程に余裕をもってご連絡ください。

☆ 当協会ホームページ内「会員による演奏会・イベント」からご覧いただけます。

<https://japanharpsichordsociety.jimdofree.com/member-info/>

< 後援申請の手続きについて >

- * 会員（会員区分：会員）の方は、ご自身が出演される演奏会のチラシに「後援：日本チェンバロ協会」と入れることができます。
- * 後援名義使用をご希望の方は、① チラシを作成（事前の申請は不要）→ ② 演奏会までに、出来上がったチラシデータ（後援を記載したチラシ）を、日本チェンバロ協会事務局メールアドレス宛にお送りください。

データ送信先：japan.harpsichord.society.jp@gmail.com

※ 件名に「後援・チラシデータ」と明記してください。

- * メールでの送信が難しい場合は、チラシを1部、日本チェンバロ協会までご郵送ください。

郵送先：日本チェンバロ協会事務局 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目44-4 1階

- * チラシを作成される前に、必ずご自身の年会費の納入状況をご確認ください。納入状況が不明の場合は、「年会費納入状況の確認」とタイトルを付け、お名前を明記の上、事務局にメールをお送りください。確認後、ご連絡いたします。
- * 年会費未納の方、滞納されている方、また滞納などの理由で会員の資格を失った方は、後援の申請をすることができません。規約に反した場合、規約に則り対処いたします。
- * 後援記載は会員の方のみの特典です。サポーターの方は協会の後援を申請できません。サポーターの方が後援記載をご希望の場合は、会員区分を変更していただく必要があります。事務局までご相談ください。

< 2022 年度の更新手続き >

- * お申し出がない限り、毎年自動継続となります。なるべく4～7月中の更新手続き（会費納入）をお願いいたします。
- * 年会費の入金確認ができ次第、新しい会員証を送付いたします。
- * 協会ホームページ内「会員専用ページ」の閲覧に必要なパスワードは毎年更新しており、その年度の年会費をお振込みくださった方に個別にお知らせしています。
- * 前年度分も未納の方は、あわせてお振込みください。
- * 当協会主催のイベント会場でも更新手続きを受け付けています。
- * 年会費のお支払い状況が不明な方は、お振り込み前に事務局までメールでお問い合わせください。
事務局 japan.harpsichord.society.jp@gmail.com

【年会費】 会員：6,000 円（学生：3,000 円） サポーター：3,000 円 法人・団体会員：10,000 円

< 退会手続き >

- * 退会希望の旨を必ず事務局までご一報ください。
- * 年会費の未納は退会手続にはなりませんので、ご注意ください。年会費が未納でも、お申し出のない限り自動継続となります。（ただし、2年間の未納が続くと3年目に自動退会、その場合も未納分の支払い義務は消えません。）

< 諸変更について >

- * 連絡先の変更、会員区分の変更をご希望の場合には事務局までご連絡ください。

< 賛助金の募集 >

- * より良い協会活動の実現のため、随時、賛助金を受け付けております。
下記口座へお振込みの際は、その旨を事務局までご一報ください。

【賛助金】 会員・学生会員・サポーター：一口 3,000 円～ 法人・団体会員：一口 10,000 円～

< 年会費・賛助金お振込み先 >

ゆうちょ銀行

名義：日本チェンバロ協会

記号：10090 番号：07246611

※ ゆうちょ銀行以外の金融機関からお振込みされる場合

店名：〇〇八（ゼロゼロハチ） 店番：008

預金種目：普通預金 口座番号：07246611

- * 振込用紙の送付は行っておりません。 * 手数料はご負担願います。
- * 年会費のお支払い状況に関するお問い合わせは、事務局までお願いいたします。

< その他 >

- * 最新のメールマガジン（第130号）を受信できていらっしゃらない方は、ご連絡ください。
- * 協会の運営に携わってくださる方を募集しております！詳細は、事務局へお気軽にお問い合わせください。



日本チェンバロ協会
Japan Harpsichord Society

会報第18号 2022年3月31日発行 発行人：岡田龍之介
編集：石川陽子、中田聖子、山下実季奈

日本チェンバロ協会事務局

住所：〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目44-4 1階

メール：japan.harpsichord.society.jp@gmail.com

ホームページ：<https://japanharpsichordsociety.jimdo.com>

